

英語 東北大学前期試験 2022 講評

あすなろ学院 英語科

【総評】

試験時間	問題形式			難易度	
100 分	記述+選択型			やや易	
問題構成					
I 読解	問 1 内容説明	問 2 内容説明	問 3 条件付き内容説明	問 4 空所補充	問 5 内容一致
II 読解	問 1 文補充	問 2 下線部和訳	問 3 内容説明	問 4 適語補充	問 5 内容説明
III 読解+英作文	問 1 会話補充	問 2 英作文 表の条件から大学入学後の住みたい場所の選択と理由説明 ／理由は最低でも3つ／指定語数80語以上			
IV 英作文	(A) 整序問題(不要なもの1つ)	(B) 条件付き英作文	(C) 英文による内容選択		

I で下線部和訳がなかったことと、IIIの英作文で語数指定が加わったこと、IVで、日本語を参考に英語の整序問題、そして、日本語の意味を英語で答える問題が、昨年から変更されている。内容説明の問題の割合が増えたことで部分点が取りやすくなったため、受験生にとっては追い風となるテストだったと思う。IVの英作文に関しては、ここ数年の中では比較的取り組みやすい内容だったと思う。

I 「環境がもたらす難民」(評論) 難易度:やや易

問 1:「an environmental migrant(環境難民)」の定義とその条件に当てはまる人はどんな人かを日本語で説明する。第2段落での出題であったが、第1段落から情報を集めておかないと解答に苦しむ。パターン化した長文の読み方をしている人にとっては、適切な解答を書けなかつたのではないか。

問 2:“But”があるため、その前後をまとめればよかった。

問 3:どこの内容をまとめればよいのかが、ご丁寧に指示されていたので、第6段落の主旨を理解することに専念すれば、それなりの解答を書けたと思う。

問 4:問題文だけではなく、この問題文が含まれる第9段落を全部読めば、自ずと解答は書けた。

問 5:昨年と同様に選択肢の語彙数が多く、一つ一つを読むのに時間がかかる。残り時間や他の問題の状況を見て、いったん飛ばすという戦略もあったと思う。

II 「これまでに人類が書き表してきたものとこれからについて」(評論) 難易度:やや易

問 1:この手の問題は、ある程度本文を読んでから解けばよい。最初の問題でも最初に解く必要はない。

問 2:ダッシュの後を読むことで、どういう意味で“farther”を使っているのかが分かる。下線部和訳にしては易しい。

問 3:段落、下線部の前後から判断すれば問題ない。

問 4:「:(コロン)」の後なので、どのように言い換えるかだが、これまでの内容を読んでいたら分かる。

問 5:この下線部の内容は、これまでのまとめとしての位置づけのため、本文全体を読めていれば書けた内容だった。

III 大学生の会話(新しい新居をどうするか)(対話・ディベート) 難易度:やや易

問1:会話なので、話の流れをくみ取る。あとは選択肢の表現に対する知識があったかどうか。

問2:昨年と同様の問題。今年は字数制限がつけられた。昨年と同様に、ヒントをいかせれば、自力で考える負担は軽減する。

IV 英作文(「情報生産者になる」) 難化:やや易

A:英訳する情報が与えられて並べ替えるという新しいタイプの問題だった。1語不要ということだったが、文構造を意識して取り組んでいた人からすれば、どれがこの英文の動詞かは気付けたと思う。

B:下線部英訳。英訳しやすそうに見えるが、英文にしやすい日本語に直すことに時間をかけられたかどうか。受験生が思っている以上に、文構造で悩む問題だと思う。

【学習対策】

「読み易いでしょ、だから、しっかりこちらの意図をくみ取った表現をよろしく」と言わんばかりの問題だったと思う。基本的なことを3年生になる前に仕上げて、読む練習と、読み取ったことを表現する練習に時間をかける必要がでてきた。ASU-vision講座の「英文解釈」で伝えている通り、「ただ表現する」のではなく、「その文法や単語がどんな役割をしているのか」を意識して表現する練習を徹底的に行って欲しい。